

【発行者】新潟農業普及指導センター
新津庁舎 0250-24-9624 津川分室 0254-92-0965

中生、晩生とも出穂期は平年並の見込み！ 適期・適量の穂肥と飽水管理で品質を確保！

1 生育状況（7月8日現在） ※指標値・差は7月10日の指標値と比較 コシヒカリは草丈、茎数、葉数、葉色とも指標値並の生育

品種		草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (葉)	葉色 (SPAD値)
コシヒカリ (調査点数9)	本年値平均	64	462	11.0	36.2
	指標比・差	97 %	100 %	-0.3	+0.4
こしいぶき (調査点数5)	本年値平均	62	505	11.5	39.6
	指標値・差	100 %	105 %	-0.2	+2.6
新之助 (調査点数5)	本年値平均	48	562	10.7	36.7
	指標比・差	92 %	97 %	-0.6	+0.7

2 今後の天気（7月10日～8月9日：新潟地方气象台7月8日発表）

【確率の高い予報(平年比)】 気温：並～高い 降水量：並 日照時間：並

3 出穂期予測と穂肥時期・施用量のめやす

品種名		出穂期 予想※	穂肥時期のめやす(出穂前日数)		合計窒素量 (kg/10a)
			1回目	2回目	
早生	こしいぶき	7/26	7/3 (23)	7/12 (14)	2回目のめやす 1～1.5
中生	コシヒカリ	8/6	7/19～7/22 (18～15)	7/27 (10)	1～3
晩生	新之助	8/12	7/22～7/25 (21～18)	7/31～8/2 (12～10)	2～3

※ 稚苗を5月5日に植えた場合の予想。新之助は5月第3半旬に植えた場合の予想。

※ 出穂期は今後の気象条件で変動することもあるため、今後の情報に注意する。

4 今後の栽培管理

- (1) 根の活力維持のためほ場の乾燥は避け飽水管理を徹底する。異常高温時は速やかに湛水し、稲体の急激な水分不足を防止する。
- (2) コシヒカリの穂肥時期は、必ず幼穂長を確認してから決める。出穂期18日前の葉色値(SPAD値)33を目安に、これより濃い場合は1回目穂肥の施用時期を遅らせる。
- (3) 新潟地域でも葉いもちの発生が確認されている。コシヒカリ BL 以外の品種で葉いもちを確認したら直ちに防除する。
- (4) 斑点米発生防止のため、7月中旬までに農道や畦畔の草刈りを行うとともに、水田内の除草(特にヒエ、ホタルイ)を徹底する。

～ 農作業時の熱中症対策は万全に！ ～